



2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド
2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

大会要項

2025 JICF-RCS第6戦は「全日本マスターズ選手権個人タイムトライアル大会」の「学連各クラス」への参加者について、2025 JICF-RCS第7戦は「東京都大島三原山ヒルクライム大会」の「学連各クラス」への参加者について、それぞれ当年度の全日本学生ロードレース・カップ・シリーズのランキングポイント付与大会・クラス昇格対象として認定する。

参加申込みにあたっては、日本学生自転車競技連盟の定める大会参加要件・機材規則に則り、日本学生自転車競技連盟宛に申込みを行うこと。

ver. 20251004

主 催	東京都自転車競技連盟
競技主管	東京都自転車競技連盟
協 力	日本学生自転車競技連盟(JICF)ほか
大会概要	大会実施概要については東京都自転車競技連盟発行要項を参照ください。 東京都自転車競技連盟 - Tokyo Cycling Federation ただし「学連各クラス」への参加者は下記にしたがってください。
日 程	2025年10月30日(木) 20:00 チーム監督・代表者会議(オンライン) 接続アドレスは申し込み責任者宛にメールいたします。 2025年11月1日(土)JICF-RCS第6戦 2025年11月2日(日)JICF-RCS第7戦
参加資格	1. 会場入場者全員 ・本連盟各種ガイドラインなどを順守すること 2. 出場選手(以下の要件を全て満たすこと) ・本連盟登録選手 ・本連盟主催のセフティライド講習会(座学・リモート)、セフティライド実地研修会(オンサイト・実技)、アンチ・ドーピング講習の全てを事前(2024年1月1日以降エントリー提出日まで)に少なくともそれぞれ1回以上、受講済であること。セフティライド講習会(座学・リモート)については、当要項巻末に掲載の「JCF スポーツサイクル基礎スキル動画4 編全てを視聴し、エントリー以前に所定の観想文を提出することにより条件を充足することができます。 ・当該年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟の登録競技者、または、UCI加盟国内連盟競技者ライセンス保持者で本連盟が参加を認めたもの。 3. チームスタッフ ・JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。 ・チーム監督/代表者は、事前(2024年1月1日以降エントリー提出日まで)に少なくとも座学講習会、アンチ・ドーピング講習をそれぞれ1回以上受講済であること。 ・チームスタッフリストにより届け出たスタッフのみが器材ピット・大会本部に立ち入ることができる。 ・チームスタッフリストはエントリー用紙に付随している。 ・チームスタッフの変更は大会開催3日前の22時までとする。 定員 大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド ・各クラス原則約20名程度(申込先着優先) 大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド



2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロード TT ラウンド

2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

	・各クラス原則約30名程度(申込先着優先)
参加申込	1. エントリー申込 ・所定の書式(エクセル)で下記RCSのエントリー専用電子メールアドレス宛に本連盟事務局まで申し込むこと。 2023jicf.rcs.entry@gmail.com ・エクセル様式申込書式は用意ができ次第、大会HPに掲載される。 ・エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、確認のため相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて下記の期限内に送付する事。 https://forms.gle/HMcRD4CuMgcezNfv9 ・本連盟ウェブサイトにて受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。 ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に貼り付けたり、挿入したりする事を禁ずる。必ず別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。 2. 申し込み期限および参加料納入期限 2025年10月20日(月) 3. 参加料 ・男女とも学連登記者は1名につき各日6,000円 (両日参加の場合は12,000円) 4. 送金 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名1101と、XX大学等、必ず大学名を記入すること。(オープン参加は個人名とする。) 5. 振込先 長野県労働金庫諏訪湖支店 普通 9686180 口座名義 日本学生自転車競技連盟 6. 返金 ・一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、感染症等の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した経費を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げるにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。 7. 欠場 ・本大会における欠場については、事前に申告した場合は理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。欠場の際は、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで連絡をすること。 ・当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合、参加料は返却しない。 誓約 本申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。
取材申請	取材申請書の提出 来場する場合、当連盟HPより取材申請書を入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。(前述の参加資格にありますように、当連盟の各種通知などに沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします)但し、状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。
宿泊移動	1. 大島往復の交通手段および宿泊については、下記へお問い合わせください。 国際興業(株)トラベルサービス部(担当:上田)03-3273-2853



2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド

2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

	http://hawaii-mice.com/bicycle/bicycle.html 4. 当連盟から交通等についての指定はない
賞 典 式	1. 表彰 大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド ・準備が整い次第、各カテゴリーの上位3選手を表彰する。 ・全クラスを通して、最速のラップタイムを出した選手にはベストラップ賞が贈られる 大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド ・準備が整い次第、各カテゴリーの上位3選手を表彰する。 ・全クラスを通して最短タイム(5.5km)を記録した者に特別賞が贈られる 8. RCSクラス・ポイント RCSランキングポイントについては、学連選手のための順位で計算する。また、クラス3の出走者上位8%以内の者(学連選手のみで小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く)はクラス2に昇格し、クラス2の1位の選手はクラス1に昇格する。
事故措置	1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。 2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。 1. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1,000万円、入院・通院保障なしである。
肖像権	2. 本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。
競技規則	1. JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
司法管轄	2. 本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続きを含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。
事務局	日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: https://jicf.info/ 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408 Tel: 090-2207-2369 Fax: 03-6804-2329 3. ※前日・当日の緊急連絡先: 080-8725-8123(東京車連)

※主催・競技主管は東京都自転車競技連盟のため、下記サイトも確認の事。

[東京都自転車競技連盟 - Tokyo Cycling Federation](#)

[伊豆大島全日本マスタース選手権・大島三原山ヒルクライム大会\(2025.10/31-11/2\) 自転車輸送について | 東海汽船](#)

NICHINAO

Innovation & Action
INOAC



PEARL izumi





2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド
2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

セフティライド講習会(座学・リモート)についての御案内

本大会の参加に必要な座学系のセフティライド講習会(座学・リモート)をまだ一度も受講していない方は、下記の方法により座学系についての参加資格を充足するようにしてください。

JICF スポーツサイクル基礎スキル動画(※)視聴とその後のレポート提出によりリモート講習会受講修了とする方法

(1) 受講対象

選手・監督・コーチ・指導者

(2) 受講要領

大会エントリー提出日までの任意の時間で以下の JICF スポーツサイクル基礎スキル動画 4 編全てを視聴し、自転車の基礎スキルを学習する。(所要時間約 75 分)

(※)

第1章 <https://www.youtube.com/watch?v=4NF00uKbzUs>

第2章 <https://www.youtube.com/watch?v=hZgtbjvCLFY>

第3章 <https://www.youtube.com/watch?v=4UJKQVVBrew>

第4章 <https://www.youtube.com/watch?v=dvzWn86fXnk>

(3) 受講レポート提出

受講修了後、以下の Google フォームに必要事項を入力し送信する。送信締切=ご自身のエントリー提出前

<https://forms.gle/8cyaVFXErY2ZouD9A>

(注意事項)

- ・ 送信締切までに入力していない場合は受講修了とはなりません
- ・ 記述式の回答は採点します。指定の文字数に満たない場合、研修会の内容を理解していないと判断される場合、複数人で同一の記述が見られる場合等不適切と判断される場合は不合格とし、受講修了とはなりません

大会特別規則

(共通)

第1条(選手の安全)

1. 安全な競技が実施できるよう、使用する自転車はよく整備すること。主催者は、自転車の整備に関する責任を負わない。
2. 自転車の整備不良により落車の原因となった選手には4000円/1件のペナルティを課す。

第2条(チーム監督/代表者会議)

1. 2025年10月30日(木)20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督および/または代表者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。やむを得ず会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時00分までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。
2. 無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、**罰金のペナルティを科す**。

第3条(器材)

1. 当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、「公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。タイムトライアルは除きトップギア時のペダル1回転あたり前進距離を 10.3m 以内に制限する。(参考:通常 700C

NICHINAO

Innovation & Action
INOAC



PEARL izumi





2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド

2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

ホイール、53×11で10.217m)」など詳細は本規定を確認すること)

2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。
4. レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。
5. 必ずJCF公認のヘルメットを着用すること。

第4条 (食料補給)

1. 飲食料の補給は、認めない。

第5条 (映像デバイスについて)

1. 映像ユニット等を自転車に付加して、走行することは原則許可する。事前の申請は不要である。ただし、JCF競技規則規定を順守すること。またレース中に撮影された映像の所有権は、日本学生自転車競技連盟に帰属するものとする。撮影した映像は、データファイルサービスなどを使用し、事務局まで送付すること。

第6条 (その他)

1. RCSポイント総合順位のリーダーは、リーダージャージを着用してスタートしなければならない。

(個人ロードタイムトライアルラウンド)

第7条 (スタート・走行)

1. 各選手のスタート間隔は、スタートリストにて発表する。
2. 競技中は、原則として左側通行とする。
3. 危険回避のためのやむを得ない場合を除き、相手競技者追抜の場合であっても、反対車線にはみ出してはならない。
4. 追抜・追い付かれ時の走行は規則に従い可能な限り充分な側方・前後距離を保つこと。

第8条 (追走車両)

1. 各選手に対する追走車両は走行しない。

第9条 (器材)

1. クラス3においてはディスクホイールの使用およびタイムトライアル専用バイクの使用を禁止する。また、エクステンションバーの取り付けについては、ノーマルなドロップハンドルバーの上部に付加するタイプのエクステンションバーのみ可とする。ステムごと交換するタイプのものは禁止する。

(ヒルクライムラウンド)

第10条 (競技)

1. ロードレーサーによるマスドスタートを基本とし、各自2ヒート合算タイムで競う「個人タイムトライアル」競技とする。なお、島しょ部への自転車の輸送を鑑みTTバイクでの出走を許容する。

第11条 (共通機材車)

1. 共通機材車は走行しない。

第12条 (失格・棄権)

1. 各クラスとも中間地点(3.2km地点)において設定時間をクリアできない者は競技を中止すること。

第13条 (その他)

1. レース後に自転車で降坂する場合、審判の指示があるまで絶対に降坂しないこと。
2. 降坂時は先導車両の後方を走行し、降坂速度は30KM/h以内とする。
3. これに従わない競技者は(レース後であっても)失格、金銭ペナルティの対象となる。

注意:大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。



2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド

2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

Day-1 個人ロードタイムトライアル

コース図



NICHINAO

Innovation & Action
INOAC



PEARL izumi





2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロード TT ラウンド
2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

Day-2 ヒルクライム コース図



NICHINAO

Innovation & Action
INOAC



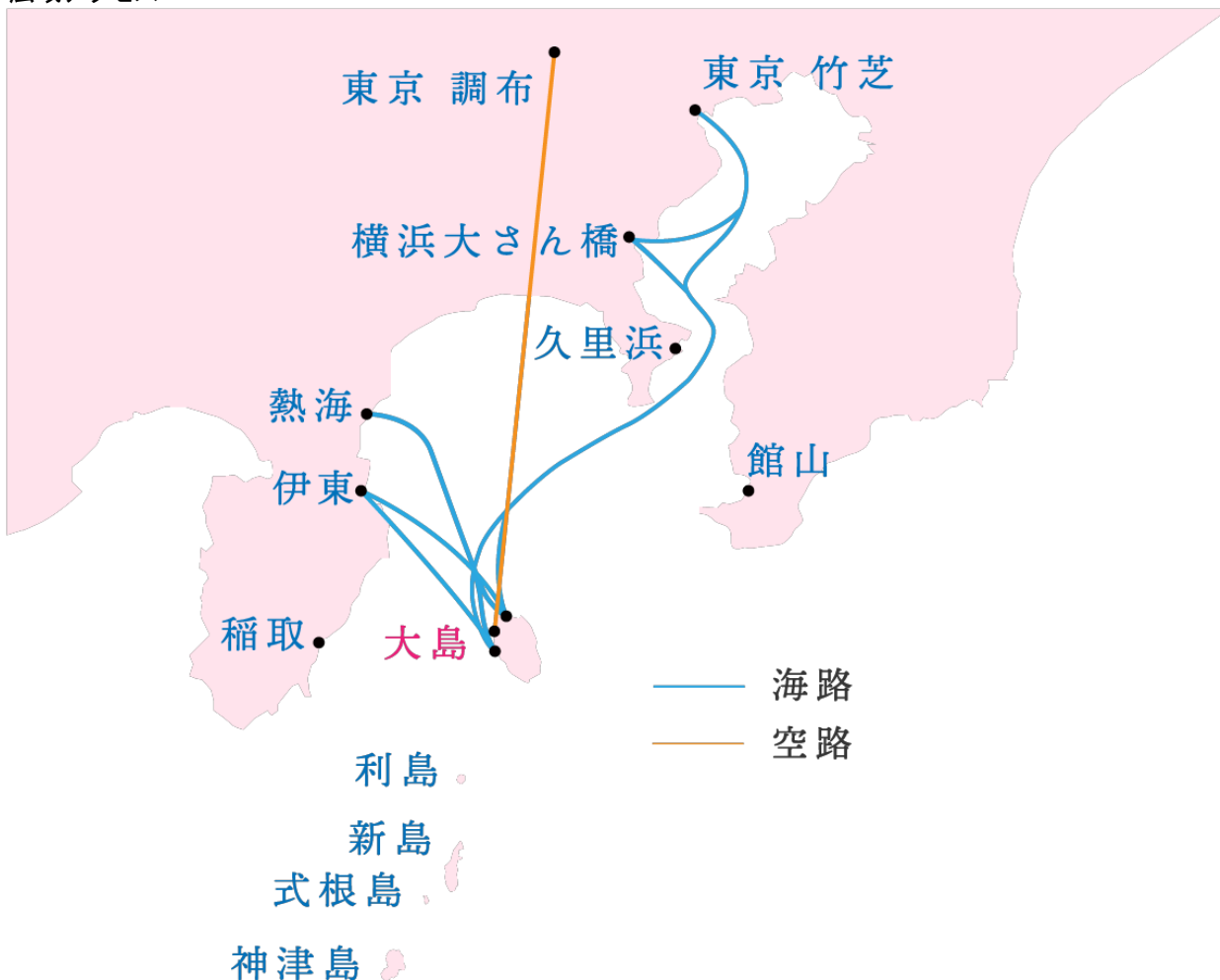
PEARL izumi





2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド
2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

広域アクセス



出展：大島観光協会 (<http://www.izu-oshima.or.jp/about.html>)



2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第6戦
大島サンセットパームライン・個人ロード TT ラウンド
2025 JICF 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)第7戦
大島三原山御神火スカイライン・ヒルクライムラウンド

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI(国際自転車競技連合)・JCF(日本自転車競技連盟)規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条 2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第5条 2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)
- 9 本大会への参加に関連して生じる競技結果・ペナルティなどに関して、本連盟ウェブサイト等において氏名・所属チーム等が公表されることを予め承諾する。

以上